

オンライン講座 日本史をにぎわせた女性たち II

テーマ : 「権力の影の不幸 北条政子」

日時 : 2022年 11月 8日

講師 : 林 和清 先生

当日参加受講生: 20名 (在籍 30名) 再視聴あり

今年の NHK 大河ドラマ「鎌倉殿の13人」の中でも重要な役割を果たしている「北条政子」について、吾妻鏡・愚管抄等をもとにお話いただきました。今回はオープン講座として、3名の方が参加くださいました。Zoom での受講はいかがだったでしょうか？

政子の出生と源頼朝との婚姻

保元2年(1157年)政子は伊豆国の豪族・北条時政の長女に生まれます。頼朝は平治の乱で破れた源義朝の子であったが、死一等を減ぜられて、伊豆へ流刑になり、政子と出会い恋におちます。

1178年政子21歳の時、父は山木兼高に嫁がせようとしませんが、山を越えて頼朝のもとへ走り結ばれます。(吾妻鏡に記述あり)

頼朝の挙兵と平氏追討まで

治承4年(1180年)以仁王の平家追討を命ずる令旨をきっかけに、時政は頼朝を支援するも苦戦。伊豆石橋山の戦いで破れて、船で安房国へのがれます。同年9月に再挙兵して平家方を打ち破り、10月には鎌倉に入ります。また、京から派遣された平維盛軍とも戦うことなく勝利し、関東を平定します。1182年頼家を出産。

寿永2年(1183年)後白河法皇からの要請で平氏を討った従兄弟源義仲は京の治安を乱したため、朝廷から依頼された頼朝は弟義経を義仲に差し向け討ち取る。義経は壇ノ浦で平氏を追討します。

伊豆・蛭が小島公園の頼朝・政子像(後ろ姿と富士)⇒

政子の子供たちが相次いで亡くなる

- ・長男頼家: 義父・比企能員と共に実家である北条を滅ぼそうとしたため、伊豆に幽閉され、謀殺されます。
- ・次男実朝: 兄・頼家の子(公暁)に鶴岡八幡宮で暗殺されます。
- ・長女大姫: 慕っていた源義仲の嫡男・義高を北条が差し向けた兵に討たれ、心を病んで20才で亡くなります。
- ・二女三幡: 入内させようとしていたが、14才で病死します。

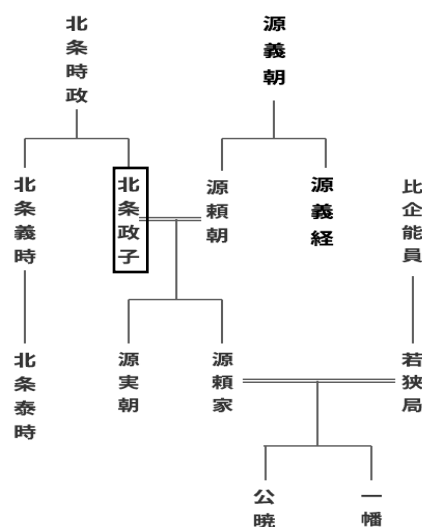
鎌倉幕府の樹立とその後

建保7年(1219年)実朝の葬儀後から政子は、摂関家から迎えた2歳の三寅(藤原頼経)を後見し、将軍の代行を務めます。「承久の乱」の際、御家人達を前に発表した「最後の詞」は有名です。この名演説は御家人達の気持ちをひとつにしたと言われています。共に戦後処理にあたった義時が1224年に亡くなります。子供たちすべてと弟を喪い悲嘆にくれたことでしょう。嘉禄元年(1225年)義時の嫡男泰時に鎌倉幕府の後を託して亡くなります。鎌倉・室町時代まで政子は「幕府成立に尽力した女性」と評価されています。



政子像

北条時政の家系図と関連図



(担当 口村)